

つなぐ

Vol.76

2025.9月

今まで治療が難しかった、あるいは治療ができなかった患者を救えるようになるためには海外に行くしかない。循環器内科の医師 廣上潤はそう考えた。不整脈治療の分野において最先端のテクノロジーはヨーロッパから世に出現しており、それらをいち早く勉強したいと考えていた矢先、ドイツ留学をしていた東北先生が声をかけてくれたのがドイツ留学のきっかけだった。

留学先ではドイツ語が必須なため、カテテルアブレーションを行う傍らドイツ語学校へ通い詰めた。日本に未導入の最先端のアブレーションデバイスをいち早く学び、不整脈分野で今最も注目されているバルスフィールドアブレーションを日本に持ち帰り、先駆者として広めている。その傍ら、ドイツの循環器学会(DGK)でドイツ語での論文発表、FAF A(小倉ライブのような治療ライブ)に出演させてもらうなど、日本では出来ない貴重な経験を積み、キャリアを高めた。留学先のCCBのボス、Julian Chun 先生と Boris Schmidt 先生からはカテテル技術だけでなく、世界で認められるにはどのように振る舞えば良いのか、強いチームを作るにはどのようなリーダーであるべきなのかを学んだ。

ドイツで得たことを次世代につなぎ、共有する。そして今度は日本から世界へ。廣上医師の挑戦はこれからも続く。





第86回

小倉循環器内科セミナー

2025年 9月25日(木) 18:00~18:30開催



ドイツからの直送便 ~鮮度抜群!最先端の不整脈治療~

座長 小倉記念病院 副病院長 安藤 献児

講師 小倉記念病院 循環器内科 医長 廣上 潤

参加方法



ZOOMによる
WEB参加のみとなります!

ZOOMの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。

PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研究会→④zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

